MITSUBA

ARENA III
アリーナIII

取付・取扱説明書

N-002-005-A

このたびは、ミツバ「アリーナIII」をお買上げいただきまして、ありがとうございます。
この取付・取扱説明書は、商品の正しい使い方や取り付け方、使用上の注意について記載しております。本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく取り付けし、お使いください。また、本書が必要になったとき、すぐに利用できるように大切に保管してください。

お取り付け等、技術的なお問い合わせ窓口
株式会社ミツバサンコーワ 技術サービス
〒376-0102 群馬県みどり市大間々町桐原3546-1
☎ 0277-72-4588

調査及び修理をご依頼の前に

- 本書裏面の「故障かなと思ったら」を参考にして、故障かどうか確認してください。
  故障とお考えの前に、お買い上げの販売店様または弊社技術サービスまでご相談ください。お取り付け上の誤りや、改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんので、お買い上げの販売店にて必要部品をご注文ください。
- 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。
- 弊社では商品の調査時の代品等の貸し出しは一切行っておりません。
  また、調査時に発生した工賃等の諸費用は、お客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

1 注意事項

ここには、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警 告　取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。

- 本品は自動車用警音器(12V車専用)です。これ以外の用途への使用は商品や周辺機器の故障、及び思わぬ事故の原因になりますのでおやめください。(バイク等には使用できません)
- 主にホンダ車のオートクルーズ付車にお取り付けした場合、オートクルーズのスイッチ操作に合わせてホーンが鳴ってしまう場合があります。これは車両の構造によるものです。この場合には、青コードの接続と絶縁防水処理の状態、回路ボックスが水のかからない場所へ取り付けてあるか見直ししてください。改善できない場合には、別途ホーンスイッチを設けることを推奨します。
- 万一、本品が鳴らなくなってしまった場合には、直ちに純正ホーンに戻す等処置をしてください。ホーンが鳴らない状態で運転すると、整備不良車両となり、また思わぬ事故の原因になります。
  (取り外した純正ホーンは万一のために保管しておいてください)

⚠ 注 意　取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険性が想定されることを意味します。また、物的損害が発生する恐れがあることを意味します。

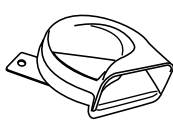
- 安全のため、作業前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。外さずに作業するとショートする恐れがあります。尚、外す前に車の取扱説明書またはディーラー等で外し方を確認してください。車両搭載装置に影響がある場合があります。
- 本品の取り付け方法・位置によっては、性能の低下や音の反響・こもり等により、道路運送車両法の保安基準(下記)に適応できない場合があります。　ー 道路運送車両法 保安基準 第43条3-(1) 抜粋 ー
  警音器の音の大きさは、自動車の前方7mの位置において112dB以下93dB以上であること。
- ホーンと回路ボックスの組み合わせを他のセットのものと入れ替えないでください。故障したり正常に吹鳴しない場合があります。
- 純正ホーンや他のホーンと同時に鳴らさないでください。電流が過大となり、ヒューズが切れたり、ホーンスイッチ破損の原因となります。
- ホーンの構造上、アルファーホーン等、他の電磁式ホーンとの組み合わせはできません。
- ホーンは長時間連続(30秒以上)して鳴らさないでください。故障の原因となります。
- ホーンに塗装やコーティング等の改造を行わないでください。故障の原因となります。
- 右図のようなホーンの改造は、不作動・破損の原因となりますので、絶対に行わないでください。(保証対象外となります)

重要
①ステーを回したり、折り曲げたり絶対にしないでください。
②中心のナットを絶対に回さないでください。
③小ネジを絶対に回さないでください。
④樹脂部を絶対に回さないでください。

2 主な仕様・その他

定格電圧	DC12V
電 流	4A×2
音 圧	113dB/2m
周波数	Hi:480Hz Lo:400Hz

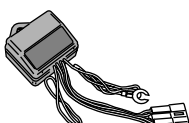
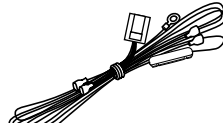
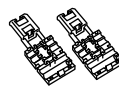
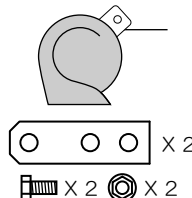
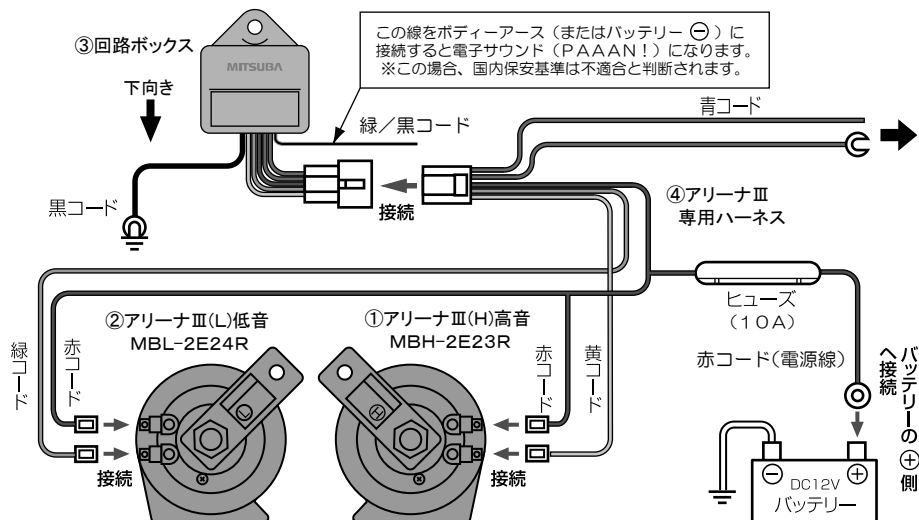
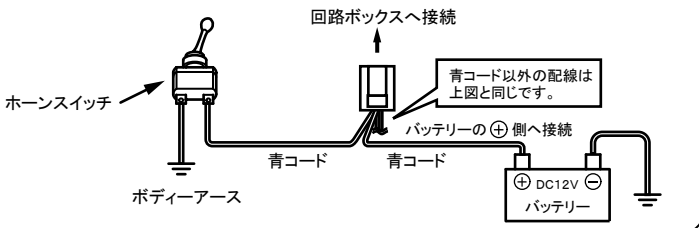
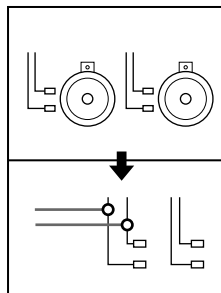
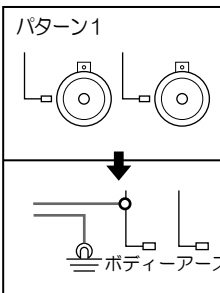
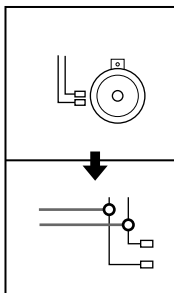
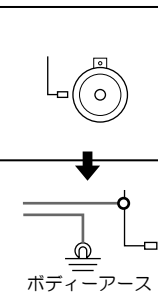
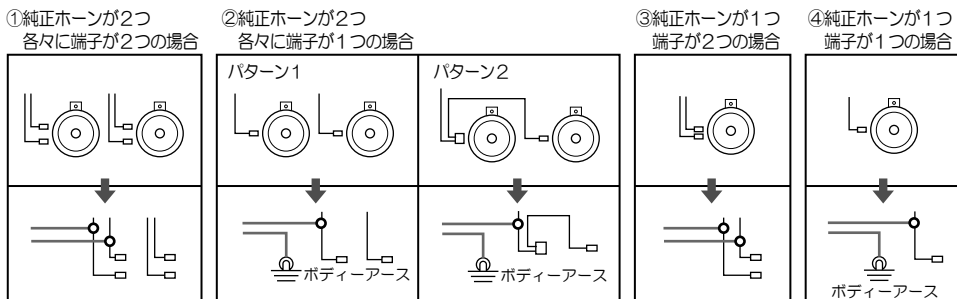
構成部品

①アリーナIII (H)高音

②アリーナIII (L)低音

③回路ボックス

④アリーナIII 専用ハーネス

⑤コネクター(2ケ)

SZ−1136『取付ステーセット』(別売)について
取付ステーセットを使用することで取り付け場所の選択肢がひろがります。
X 2　X 2　X 2

使用工具:・+ドライバー ・プライヤ ・ニッパー ・スパナ ・テスター ・ビニールテープ等

3 配線図

●青コード(2本)の配線方法　※2本の青コードには極性はありません。

●○部分へ青コードを付属のコネクターで接続してください。
●①③の場合は、片方の青コードに付いている端子を切断して接続してください。
●純正ホーンから外したコネクター及び接続用コネクター部は、絶縁のためビニールテープ等で確実にテーピングしてください。

- 高音ホーンと低音ホーンでは接続するコードの色が異なります。詳しくは、ホーンのステーに貼ってあるシールをご覧ください。
- ボディーアースとは、コードを車体の金属部に接続することで、間接的にバッテリーのマイナスに接続することです。金属部の汚れや塗装等を取り除いて確実に接続してください。ボディーアースが確実に接続されていない場合は、ホーンが鳴りません。

＜＜ 保 証 規 定 ＞＞

保証範囲や条件など詳しい内容についてご説明します。必ずお読みください。

お買い上げいただきました本品は、弊社の厳しい品質管理のもとで製造されたものです。
万一、製造上の不具合がありました場合には、この保証書に示す条件に従って無償で修理・交換させていただきます。

修理は、お買い上げ店に保証書・不具合内容を提示の上、ご依頼ください。
- この保証書は保証期間が満了したときに効力を失うものとします。
  また保証期間内であっても商品が日本国外に持ち出された時は効力を失うものとします。
  (This warranty is valid only in Japan.)
- この保証書は破損または紛失した場合でも再発行は致しませんので大切に保管してください。

次に該当する場合は、保証期間内であっても無償修理の対象となりませんので、ご注意ください。
- 本品を分解・改造した形跡が認められた場合。(本品のシール類を剥がした場合も含む)
- お客様の故意または過失による故障と認められた場合。
- 地震・台風・水害などの天災ならびに火災・事故・その他紛争などによる損傷が認められた場合。
- 取付・取扱説明書に記載されている諸事項が守られなかった為に不具合が発生した場合。
- 保証書の提示がないか、あるいは記載事項の不足、文字の書き換えが認められた場合
- 販売店様の押印またはレシートが無い場合。

キリトリセン

4 取り付け方法

安全のため、作業前にバッテリーのマイナス端子を外しておいてください。外さずに作業するとショートする恐れがあります。尚、外す前に車の取扱説明書またはディーラー等で外し方を確認してください。車両搭載装置に影響がある場合があります。

1 ホーンの取り付け、青コードの接続

① 純正ホーンの場所と個数及びホーンから出ている端子数(1端子か2端子か)を確認してください。(図1参照)

② 純正ホーンに接続されているコードをホーンから外し、他の部分と接触しないよう先端をテーピングしてください。

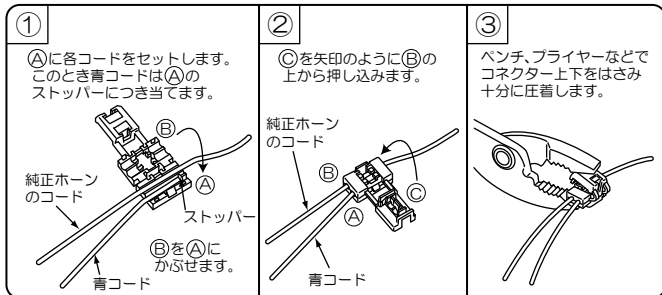
それぞれの端子をテーピング

③ アリーナⅢ専用ハーネスの青コードを純正ホーンから外したコードに接続してください。(図1参照)
また、接続には付属のコネクターを使用してください。(図2参照)
接続後は、防水・絶縁のためテーピングしてください。

図1

ポイント: 純正ホーンから外した配線の先端やコネクター部はテーピングし、他の部分と絶縁してください。絶縁処理が不十分な場合、被水等により誤動作する恐れがあります。

コネクター接続方法 図2

図3

④ アリーナⅢ専用ハーネスの赤、緑、黄コードをアリーナⅢの各端子に接続してください。(図3参照)

ポイント: ホーンの高音、低音用を間違えて接続しないよう注意してください。高音、低音を間違えると正常に鳴りません。また、端子の接続が不確実だと接触不良や端子抜けの原因になります。

⑤ ホーンの取り付け場所として、剛性の高い鉄板部分を探し決定してください。

ポイント: 純正ホーンの取り付け位置であっても、剛性の低い場合があり、正常に鳴らなかったり脱落の原因となります。また周囲の部品と干渉した場合、車両故障や破損の原因となります。

ホーンは、周囲の部品やボディー等に接触しないように取り付けてください。接触していると正常に鳴らなかったり、ホーンが破損して脱落し、思わぬ事故の原因となります。

図4

⑥ ホーンの渦巻きの開口部を下向きにし、ボルト・ナットで確実に固定してください。(図4参照)

ポイント: ホーンの渦巻き内に水がはいらないように、開口部を下向きに取り付けてください。渦巻き内に水が入ると正常に鳴らなくなったり故障の原因となります。

2 回路ボックスの取り付け

① 水がかかりにくく、エンジンの熱の影響を受けにくい場所を探してください。

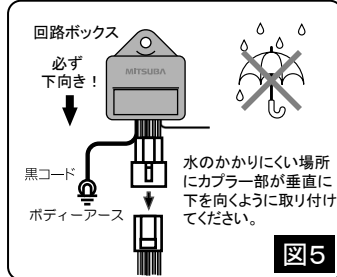
ポイント: 水の浸入や熱は、故障の原因となります。
HIDのイグナイターやバラストの近くへは取り付けしないでください。故障の原因となります。

図5

② カプラ部が下を向くように取り付けてください。(図5参照)

③ 回路ボックスのカプラーにアリーナⅢ専用ハーネスのカプラーを接続してください。

④ 回路ボックスから出ている黒コードをボディーアースしてください。

ポイント: ボディーアースとは、コードを車体の金属部に接続することで、間接的にバッテリーのマイナスに接続することです。金属部の汚れや塗装等を取り除いて確実に接続してください。ボディーアースが確実に接続されていない場合は、ホーンが鳴りません。

3 赤コード(電源線)の接続

① アリーナⅢ専用ハーネスの赤コードをバッテリーのプラス端子に接続してください。

4 吹鳴テスト

① 取り付け作業前に外したバッテリーのマイナス端子を元通りに接続してください。

② ステアリングのホーンスイッチを押して、ホーンが正常に鳴ることを確認してください。

ポイント: 吹鳴テストの際はホーンから近くに人がいないことを確認してください。至近距離で吹鳴させると耳に傷害を起こす恐れがあります。

5 仕上げ(配線処理・整理)

① 各配線が他の装置等に触れないように整理し固定してください。

ポイント: 配線処理を怠ると、配線が他の装置に触れたり、絡まったり、車体に噛み込んだりし、思わぬ事故の原因となりますので確実に処理してください。

6 電子サウンドについて

- 本品は以下の2種類のサウンドを有しています。
  (1)ユーロサウンド(PA！：余韻なし)
  (2)電子サウンド(PAAAAN！：余韻あり)
  ※電子サウンドの余韻の長さは高音側と低音側で多少異なる場合があります。

  回路ボックスから出ている緑/黒コードをボディーアースまたはバッテリー㊀に接続すると電子サウンド(PAAAAN！)となります。
  ※電子サウンド切り替え用の部品は同梱していません。必要に応じてご購入ください。
  【参考】 切り替えスイッチの電流容量：0.5～5A
- 本品は自動車用警音器(ホーン)としてECEの認証を取得しており、ユーロサウンド、電子サウンドともに欧州保安基準に適合しています。
- 本品の電子サウンドを使用すると、国内保安基準に不適合と判断されます。
  お客様の判断でご使用ください。

5 故障かなと思ったら

下表の確認を行ってください。確認を行っても正常に吹鳴しない場合は、本書表面に記載の弊社技術サービスまでご連絡ください。

症　状	確 認 項 目
ホーンが全く鳴らない	・青コードの接続及びコネクターの接触を確認してください。(図1 図2) ・回路ボックスの黒コードがボディーアースされているか確認してください。(2) ・赤コード(電源線)のヒューズまたは車両のホーンヒューズが切れていないか確認してください。 ・ホーンのステーや小ネジを回していませんか？ 回してしまった場合は修理不可となりますので本品をご購入の販売店にホーン単品をご注文ください。
ホーンが片側鳴らない	・鳴らないホーンのコード接続状態を確認してください。
音が極端に小さい	・高音側、低音側の配線間違いはありませんか？ ・ホーンの渦巻き部に水が入っていませんか？ホーンを取り外し、振って水の音がしないか確認してください。水が入ってしまった場合には修理不可となりますので本品をご購入の販売店にホーン単品をご注文ください。
電子サウンドにならない	・緑／黒コードのボディーアース接続状態を確認してください。
電子サウンドの余韻が極端にズレる	・ホーンが周囲の部品やボディー等に接触していないか確認してください。

下記HPサイト及びモバイルサイトから商品の情報、取り付け上のＱ＆Ａがご覧いただけます。あわせてご確認ください。

パソコンからはこちら ➡ http://www.mskw.co.jp

ミツバサンコーワモバイルサイト
http://www.mskw.co.jp/mobile/